

農業、市政運営、医療 災害対策など

今議会の一般質問は、21、22、25、26日に行われます。日本共産党の4人の議員は、今回も全員が市民の暮らしを守るための質問を展開します。

今回の通告者は25人。1日6~7人のペースですので、日本共産党の各議員の一般質問は26日になりそうです。なお、議事の進行によっては、前後することもありますので、予めご了承ください。

橋本正幸議員<21番目>

1. 「食料・農業・農村基本計画」の進捗状況、中山間地農業の後継者問題、米の直接支払い交付金廃止問題、アメリカを除くTPPとヨーロッパとのFTAへの動きなどについて
2. 生活保護制度の周知方法について

上野公悦議員<22番目>

1. 市長のこれまでの市政運営について
2. 国への姿勢について
3. 新体操アリーナについて
4. 国宝の刀剣購入事業について

平良木哲也議員<23番目>

1. 地域医療構想について
2. 小中学校の教職員の多忙化解消について

橋爪法一議員<24番目>

1. 核兵器禁止条約をめぐる最近の動きについて
2. 災害対策について
3. 指定管理者制度導入の状況と課題について

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 563 2017年9月17日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

「規模や事業費、建設場所においても異なるもの」??

新体操アリーナ建設計画で市長・教育長が強調

橋爪議員が総括質疑

5日に開会した9月議会では、市長の提案に対して橋爪議員が党議員団を代表して総括質疑を行いました。

橋爪議員は、入札契約制度の改善・見直し、Jホールディングス㈱の経営健全化、木田第2庁舎の火災を受けた防犯対策、上越科学館の指定管理者制度移行計画に加え、大潟区に建設が予定されている新体操アリーナの土地取得議案に関連する質疑を行いました。

当初、行政は3年前の地元からの請願に応え、既存アリーナの不十分な点を拡充するとして約4億5千万円規模の建設計画を示していましたが、その後改めて考え直すとして、今年6月、突然、23~26億円規模の建設計画を示しました。

橋爪議員は、「なぜ大きく変わったのか」「市民の理解は得られると考えているのか」とたずねました。

これに対して、7月に就任した野沢教育長は、「請願を踏まえて当初計画した施設は、現アリーナに不足する新体操とトランポリンの練習場の整備としていたが、教育委員会として施設のコンセプトや規模・機能を見直し、機能を重視した計画とした。現在の計画は、器械体操、新体操、トランポリンの練習に加え、県・北信越大会などが開催できるような機能を付加しており、規模や事業費、建設場所においても異なるものを提示した」と答えました。

そして、「将来を見据えた価値ある投資である。広報紙やホームページ等を通じて、市民にも周知したい」としました。

これでは、地元からの請願はきつかけにすぎないということになります。その点でも市民理解は得られないのではないのでしょうか。

40人以上が盤に集中

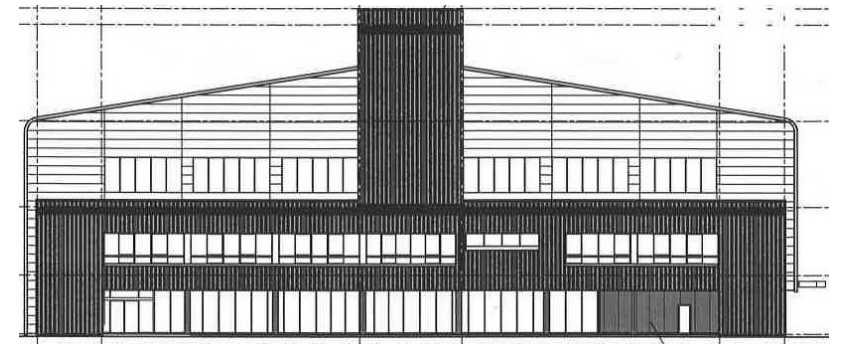


藤井聡太四段の快進撃への期待などもあり、全国的に将棋人気が高まっている中、第54回赤旗囲碁将棋大会が全国で行われています。

ここ上越市でも、3日に地区大会がおこなわれ、40人以上の囲碁・将棋ファンが熱い戦いを

繰り広げました。

この大会は都道府県大会を経て11月の全国大会につながり、優勝した「赤旗名人」は、将棋ではプロ公式戦、新人王選に出場できます。また、囲碁では新人王に輝いたプロ棋士に挑戦できます。



6月に示された新体操アリーナの立面図(一部)

継続こそ力

市民のみなさんによる「戦争法反対」「共謀罪やめよ」のスタンディングが続いています。

これらの悪法を完全に葬り去るまでは、どんなことがあってもあきらめずに頑張るとの、草の根からの力を感じます。歴史の大きな歯車を動かすのは、まさにこうした市民の力でしょう。

9月後半のスタンディング情報

- 19日(火) 7:30~ 春日山交差点
- 23日(土) 11:00~ 市役所入口交差点
- 26日(火) 7:30~ 春日山交差点
- 29日(金) 7:30~ 春日山交差点